

まちみらい ニュース News

Vol.80

編集 (財)まちみらい千代田

〒101-0054 千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクウェア4階
TEL3233-7555(代) FAX3233-7557
http://www.chiyoda-days.jp



次回「ちよだ青空市」は12月7日(水)

次回「ちよだ青空市」は12月7日(水)10:00~15:00開催

問合せ NPO法人農商工連携サポートセンター
☎5259-8097

住所 〒101-0054東京都 千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクウェア1207
地下鉄東西線竹橋駅3B出口より徒歩2分
URL <http://www.npo-noshokorenkei.jp/index.html>

サテライトオフィス山形県南陽市 大芋煮会を開催しました!

「市町村サテライトオフィス東京」入居団体の山形県南陽市が10月19日(水)にちよだプラットフォームスクウェア1階「プラットフォームデリアンドカフェ」にて『大芋煮会』を開催しました。

山形では秋の行楽シーズンになるとパーベキュー感覚で、野外で芋煮鍋(具材は里芋、牛肉、ネギなど)をみんなで食べるのが定番。

芋煮鍋、玉こんにゃく、山形家庭料理のだし豆腐などと一緒に南陽市唯一の蔵元「東の麗酒造(あずまのふもとしゅぞう)」の日本酒と梅酒が振る舞われ、出席した方々は郷土料理と利き酒を堪能していました。

また、山形県が10年をかけて開発した自慢のお米「つや姫」のおにぎりコーナーには長蛇の列ができました。

南陽市では11月のちよだ青空市開催の際も、地元産フルーツジュースを先着100名様に無料配布するなど、活発にPRをおこなっています。

問合せ 産業まちづくりグループ
☎3233-7558

ちよだプラットフォームスクウェア 創立7周年記念講演会を共催



▲講演会の様子

講演会では、まず初めに、東京大学教授の玄田有史氏による「震災からの復興へ」希望あふれる社会の創造を目指す」というテーマで、基調講演が行われました。玄田教授からは、閉塞感に満ちている現

在の社会の現状をどのように打破し、今回の震災を契機として希望あふれる社会として復興・再生していくかということについて貴重なお話がされました。基調講演に続き、「都市と地方の連携による復興支援」というテーマで、被災地へ職員を派遣したり、直接物資を送る等積極的な復興支援を展開している千代田区の石川雅己区長からのビデオメッセージが放映されました。

その後、今回の震災の被災地である岩手県釜石市の野田武則市長、東京大学社会科学研究所助教の大堀研氏、プラットフォームサームサービス株式会社の枝見太朗氏による鼎談が行われました。その中で都市と地方の共生、復興・再生に向けた思いなどが語られ、参加された方が熱心に耳を傾けていました。

問合せ 企画総務グループ
☎3233-7556
プラットフォームサームサービス(株)
☎3233-1155 1

都市と地方の連携による 震災からの復興支援テーマに

財団法人まちみらい千代田では、ちよだプラットフォームスクウェアの運営会社であるプラットフォームサームサービス株式会社と共催で、去る10月5日(水)に「ちよだプラットフォームスクウェア創立7周年記念講演会を開催しました。当日は、あいにくの雨模様にもかかわらず、会場に用意した座席がいっぱいになるほどの多くの方がお越しになりました。



▲懇親会の様子

株式会社マイト

●サービス業 ●経営革新部門

2011年6月に経営革新計画の認定企業に選定されました。弊社の新しいサービスによって、「需要」と「供給」をうまくマッチングしていくことができると確信・革新しております。グローバルで闘える企業を目指しています。

URL <http://www.mate-en.com/>

『第4回千代田ビジネス大賞』 エントリー企業紹介① 7社

今月号よりビジネス大賞のエントリー企業を紹介します。

伊藤忠丸紅スチール AP 株式会社

●鉄鋼専門商社 ●環境貢献部門

当社主力商品の鉄鋼製品はリユース・リサイクルが可能な環境に優しい商品です。さらに環境型商品として「冷えルーフ(夏は遮熱・冬は保温)」「ソーラマスター(太陽光集光)」「移動オアシス(気化式涼風装置)」等を施工工事込みで販売しています。

URL <http://www.misteel.co.jp/>

株式会社龍名館

●旅館・飲食店・不動産賃貸業 ●文化伝統部門

明治32年に江戸の文化と歴史が薫る神田駿河台に創業した龍名館は今年で112年になります。和のたたずまいを宿し、くつろぎと情緒のある旅館で皆様をおもてなし致します。宴会や会議室の施設も充実しております。

URL <http://www.ryumeikan.co.jp/>

ゴージョージャパン株式会社

●医薬品・医薬部外品・化粧品の卸売 ●安全安心部門

GOJOは半世紀以上にわたり、スキンケアを通じた健康づくりの促進に専念、その実績と信頼により幅広く支持され、愛用されています。感染予防、食の安全・安心、スキンケアの観点から様々な業界で注目されています。

URL http://www.gojo.com/japan.aspx?sc_lang=ja-JP

フジ産業株式会社

●包装用品、花材・生活雑貨製造卸 ●経営革新部門

100円ショップ向ラッピング・雑貨製品を年2千万個販売。新商品開発は年間300種類に及びます。プリザーブドフラワーなどの花材事業では、業界初のSPA型製造卸としてWEBを通じて全国のフラワー教室や小売へ商品を販売しています。

URL <http://www.fujisg.co.jp/>

株式会社タッグ

●商業店舗企画・デザイン・設計施工 ●ニュービジネス部門

創業来、法人個人様の商業店舗の企画デザイン、設計、施工をして参りました。つくっては壊すという業界で「店舗・オフィスの廃材で新しいお店をつくる」という新テーマで環境貢献ビジネスにチャレンジして参ります。

URL <http://www.tug-d.com/>

エイムズ株式会社

●広告代理店 ●ニュービジネス部門

個人が気軽に無料で電子出版を行えるポータルサイトを運営しています。書籍だけでなくお店案内、事業紹介等の販促にもご活用いただくことが可能です。ぜひお気軽にご参加ください。

URL <http://エイムズ.com/>

マンション理事長連絡会と共同で

福祉まつりにブース出展



10月22日(土)、千代田区役所一階区民ホールで第9回福祉まつりが開催されました。

当日は、あいにくの雨模様でしたが、大勢の方が福祉まつりに参加され大盛況でした。

まちみらい千代田及びマンション理事長連絡会では、ブースをお借りして、マンション理事長連絡会の会員の中心で、マンション内での

「マンションサポートちよだ」についても「自分にも送ってほしい」等の要望もありました。

また、(社)首都圏マンション管理士会 都心支部の協力で、ブース内でマンションに関する相談会を開催したところ、数名の相談者が相談に来られ、マンションのバリアフリーへの取組み、相隣問題、ゴミ出しの問題などの相談を受けました。

まちみらい千代田では、建物の維持管理というハード面の支援だけでなく、マンション

▼当日のブースの様子



のコミュニケーションというソフト面での支援も行っています。

問合せ 住宅まちづくりグループ
☎32333-3223

マンション 無料相談会

まちみらい千代田では「マンションの維持管理に関する相談」の充実を図るため、「首都圏マンション管理士会 都心支部」の協力を得て、マンション無料相談会を行っています。

当日はマンション管理士が皆様の相談をお受けいたしますので、お気軽にお申込みください。

※相談は1回30分程度、予約の方を優先します。事前に相談内容等についてまちみらい千代田へご連絡ください。よりの確なアドバイスが可能となります。

とき 毎月第3水曜15時～17時(当日受付は16時まで)
会場 ちよだプラットフォーラムスクウェア4階まちみらい千代田(神田錦町3-1-21)

なお、マンションでの日常生活や建物の維持管理等のご相談、マンションに関する各種助成制度の申請についての相談等は、随時受け付けております。

問合せ 住宅まちづくりグループ
☎32333-3223

女性起業家支援オフィス開設！千代田ビジネス起業塾も好評開講中

「将来お店を持ちたい」「経営の基本を学びたい」「独立したい」OL、主婦、学生などを対象に、起業の基本をカリキュラムとした女性起業家向けの千代田ビジネス起業塾が、10月6日(木)から全8回の申し込みがあり、起業を目指して、受講中です。

起業塾に合わせてプラットフォーラムスクウェア2階には、女性専用の「女性起業家支援オフィス」も開設しました。

「女性起業家支援オフィス」とは、座席指定のないオフィス

▼講義風景



スペースを共同利用することにより手軽にオフィスをもつことができる女性専用のオフィスです。

※「女性起業家支援オフィス」に関するお問い合わせは、プラットフォーラムサービス(株)まで

問合せ 産業まちづくりグループ
☎32333-1511

がんばる中小企業応援リレーコラム

「危機に立ち向かえ！中小企業」(2)

ピンチをチャンスに変えるために

リスクを乗り越える企業づくり

中小企業診断士 齊藤 博氏

宮城県沖で起こった大震災によって、350km以上離れた首都圏でも、生活や事業活動に大きな影響を受けてしまいました。こうしたリスクが起きたとき、私たちは生活や事業を続けるため、また、早く復旧させるためにどうしたらいいのでしょうか。

今回は、「ひと」の問題について考えてみたいと思います。企業の事業継続計画(BCP)では「企業が自然災害、大規模テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合」をリスクとして広く考えておりますが、世界に類のない地震の我が国では、大地震をリスクと考えて間違いないとも言われています。

正直言って、こうしたリスク

から逃れる方法はありません。リスクが経営につきものである以上、皆さんはリスクに備え、着々と対策を進めておく必要があります。

中小企業庁が公表している「中小企業BCP策定運用指針」は、BCPを作り、日常的に運用するための方向を示しています。

皆さんの企業の事業継続能力を測る簡単な方法がありますので、図の「入門診断表」をチェックしてみてください。

大事なことがあります。できることから始めてみましょう。まず、「従業員と連絡を取る習慣をつくる」ための対策についてです。

パートやアルバイトを含め

たすべての従業員の自宅住所、

▼ 中小企業 BCP 策定運用指針入門診断表 (人的資源)

設問	チェック
緊急事態発生時に、支援が到着するまでの従業員の安全や健康を確保するための適切な災害対応計画を作成していますか？	
災害が勤務時間中に起こった場合、勤務時間外に起こった場合、あなたは従業員と連絡を取り合うことができますか？	
定期的に避難訓練を実施していますか？	
初期救急や心肺蘇生法の訓練を受けた従業員がいますか？	

大震災では多くの通信手段が使えなくなりましたが、パソコンメール、スマートフォン、PHSなどうまく機能したのもあります。通信手段や連絡方法に慣れていないと、迅速な対応が出来ないので、定期的に訓練することが大事です。

次に、「避難訓練の実施や初期救急、心肺蘇生法の訓練」への対応についてです。

区では、各会場で避難・通報、初期消火、応急救護、帰宅困難者避難訓練を行っています。スケジュールを組み、交代で訓練に参加できるようにして下さい。

大事なことは、体験したことを社内です話し合い、記録することです。心構えができること共にノウハウも備わります。社内の意思疎通のきっかけにもなり、仕事も円滑に進むなど予期しない効果が表れます。

「連絡を取り合う習慣づくり」や「訓練体験の共有」を通して、柔らかな団結心を育むきっかけになるように思います。

最後に、「支援が来るまで従業員の安全などを確保するための災害対応計画」を作ることで、これについては、区の中小企業診断士の会「ちよだ中小企業経営支援協会」で支援をさせていただいております。経営に関することなども含めて、お分かりにならないことがありましたら、お気軽に「ちよだ中小企業経営支援協会」(http://www.mc-chiyoda.jp/mc-chiyoda/top.html)までご連絡ください。

*このコラムの全文は千代田day's「中小企業応援リレー」に掲載されています。

URL <http://chiyoda-days.jp/future/staffblog/relaycolumn/>

問合せ 産業まちづくりグループ
☎32333-7558

あなたの建物はだいじょうぶですか？

建物が主治医を求めています
ビル・マンションの外壁(屋上・外周壁)調査診断致します!

●建物調査・診断(地震・経年劣化などによる現況調査) ●劣化損傷に対する対策案作成
●建物維持保全提案・コンサルタント ●長期修繕計画(立案)等



建物の調査診断・改修設計など、お気軽にご相談ください。

ご相談・お問い合わせは
TEL. 03-3264-0930 東京都千代田区六番町1-1
E-mail: azrt@blue.ocn.ne.jp (担当: 熱田)

株式会社 **アズ・リノバテック**